

環境への取組みと 社会との共生



神戸製鋼グループは、地球環境の保全が全ての生命体に共通する最も重要な課題であり、より健全な地球環境を次世代に引き継ぐことが私たちの使命であると認識し、環境経営基本方針を策定して、事業活動のあらゆる面で環境に配慮する環境経営の推進に努めています。環境経営委員会を設け、グループ全体で環境経営に取り組んでいます。

■環境経営基本方針

『グループ環境経営の実践による企業価値向上』

—— グループの環境力向上 ——

神戸製鋼グループは、環境先進企業グループを目指して

1. 環境に配慮した生産活動

2. 製品・技術・サービスでの環境への貢献

3. 社会との共生・協調

を実践することにより、社会的責任を果たすとともに、環境力を高め企業価値を向上させる。

■環境マネジメントシステムの構築

神戸製鋼グループは、継続的かつ効果的に法令遵守および環境改善への取組みを推進するために、環境マネジメントシステム(EMS)の国際規格「ISO14001」、環境省の「エコアクション21(EA21)」、こうべ環境フォーラムの「神戸環境マネジメントシステム(KEMS)」などの認証取得を奨励しています。

2008年度については、グループ会社3社が認証を取得し、重要な事業所として残すところ4事業所が、認証取得に向けて継続して取り組んでいます。なお、当社全事業所(11事業所)については環境マネジメントシステムの認証取得が完了しており、グループ会社についても合計45社が認証を取得しています。

■日本政策投資銀行から高い評価

当社は、平成21年日本政策投資銀行(DBJ)による環境格付*において「環境への配慮に対する取組みが特に先進的」という最高ランクの評価を受けました。当社の環境管理体制強化や、エコプロダクツへの取組みが評価された結果です。



*日本政策投資銀行の「環境格付融資制度」の一環で実施されるもの。企業の環境経営を評価し、3段階の格付に応じた、貸出金利が優遇される。

当社は、平成21年日本政策投資銀行(DBJ)による環境格付において「環境への配慮に対する取組みが特に先進的」と評価されました。

■廃棄物の再資源化でCJC会長賞を受賞

当社の長府製造所では、(財)クリーン・ジャパン・センター(CJC)が経済産業省の委託を受けて主催する、平成20年度「資源循環技術・システム表彰」で会長賞を受賞しました。本表彰は、廃棄物の発生抑制、再使用、再資源化に資する優れた事業や取組みを表彰するものです。

長府製造所の受賞案件は、「非鉄金属加工工場における金属資源の最大活用」です。アルミニウム押出材や銅板の製造工程から発生する金属を含んだ汚泥などは、産業廃棄物として処理されてきました。長府製造所では、廃棄物の成分や処理方法を詳細に把握し、汚泥などに含まれる金属資源の有効活用を推進。総合排水汚泥から年間150tの金属銅を回収し、アルミニウム含有廃棄物からは年間300t(2007年)を有価再資源化するなど、資源循環の実現に大きく貢献しています。



資源循環技術・システム表彰 表彰式

社会貢献への取り組み

神戸製鋼グループでは、社会の一員として、地域住民の皆様との交流活動、地域社会への貢献活動に継続的に取り組んでいます。

地域との交流

神戸製鋼加古川体育館では、毎年春と夏の2回、「神鋼加古川杯少女バレーボール大会」を開催しています。多くの小学生バレーボールチームが出場し、加古川市のスポーツ振興の一つとして親しまれています。このほかにも、加古川製鉄所では養護・福祉施設との合同運動会も毎年開催しています。

また、当社グループの建設機械の教習事業を行なっているコベルコ教習所では、各地の教習所で近隣の小学生・保育園児を招待し、建設機械の見学会や体験試乗会、写生大会を実施しています。

灘浜サイエンススクエアの自然教室

神戸神戸発電所に隣接する当社グループの地域交流施設である「灘浜サイエンススクエア」(神戸市灘区)では、身近な自然との関わりを通じて、環境を大切にすることを育む「自然教室」を毎年様々なテーマで実施しています。平成20年度には、年間で18回開催し、約1,200名の方に参加いただきました。

夏休みには、新しいテーマとして「土壌生物観察」が加わりました。これは、落ち葉の中のミクロの世界をのぞいて、小さな生物が落ち葉を食べる様子を観察し、森のリサイクルを学ぶ体験学習です。

灘浜サイエンススクエアでは、自然教室のほかにも工作教室も開催しており、これからも様々なテーマをとりあげ、地域社会の皆さんとのコミュニケーションに努めてまいります。

ラグビーを通じての活動

ラグビーの普及活動

神戸製鋼コベルコスティーラーズは、ラグビー普及活動の一環として、全国各地の学校やラグビースクールなどを訪問し、指導を行なっているほか、ラグビー体験教室を通じて、多くの人にラグビーの楽しさを体験してもらっています。また、「全国高等学校合同ラグビーフットボール大会」を2005年より毎年開催するなど、ラグビーの普及活動とスポーツ振興に努めています。

さらに、地元神戸をはじめとした地域の様々なイベントに選手が参加し、地域との交流にも努めています。

募金活動

平成13年度より行なってきた、特定非営利活動法人「日本せきすい基金」への募金活動をジャパンラグビートップリーグ2008-2009の神戸製鋼コベルコスティーラーズ出場試合会場にて引き続き行ないました。

また、平成20年6月22日に神戸ユニバー記念競技場で行なわれた「神戸製鋼コベルコスティーラーズ対ワールドファイティングブル」戦の試合前に、ワールドファイティングブルと共同で、中国四川大地震、ミャンマーを襲ったサイクロンの被害にあわれた方々への募金活動を行ないました。集まった募金は、平成20年11月7日に財団法人日本ユニセフ協会に寄付いたしました。



募金活動の様子